

履歴書

(しばた さとる)

【氏名】 柴田 怜 (男)

【生年月日】 1991 年 6 月 27 日 生 (満 29 歳)

【現住所】 〒250-0858

(かながわけん おだわらし こだい)

神奈川県小田原市小台 19-1

TEL 080-6708-5390(スマートフォン)

E-mail satorushibatad4dr@gmail.com (PC/スマートフォン)



| 年 | 月 | 学 歴 |
|------|---|---|
| 2011 | 4 | 法政大学 経済学部経済学科 入学 |
| 2015 | 3 | 法政大学 経済学部経済学科 卒業 卒業論文の論題 『環境税と社会保障財源の制度的考察』 |
| 2015 | 4 | 上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 進学 |
| 2017 | 3 | 上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 修了 修士論文 『エネルギー改革策が及ぼした環境・経済・社会的影響: 日独英仏国の実証分析と国際比較』 分析手法: 対数線形重回帰分析、主成分分析、分散分析、偏微分、重積分、グラフ描画 GPA3.74/4.00(93.5%) |

| 年 | 月 | 職 歴 |
|-----------|-----|-------------------------|
| 2017~2020 | 4~7 | 『株式会社セラク』 データサイエンティスト |
| 2020~2021 | 9~2 | 『株式会社 EDIX』 データサイエンティスト |

【称号・受賞・資格】

1. [Kaggle Notebooks Expert](#) (2020 年 12 月)
 - Solo 1 Silver + 7 Bronze Medals
 - Highest Rank: 634/156126(Top 0.4%)
 - Discussion 11 Bronze Medals
2. [統計データ分析士 2 級](#) (第 1212 号 2017 年 2 月 28 日)
3. [UiPath Academy RPA Developer Foundation](#) (2019 年 4 月)

【テクニカルスキル】

- 言語: Python3/R
- IDE: Jupyter Notebook/RStudio
- DB: MySQL/BigQuery/Redshift SQL
- 機械学習(LightGBM, XGBoost, t-SNE, k-means、密度準拠クラスタリング、主成分分析等)
- 計量時系列分析(多変量 SV モデル、偏グレンジャー因果性検定、単位根検定、共和分検定等)
- 統計解析(統計の有意差検定、一般化線形モデル、構造方程式モデリング、パネルデータ分析等)
- 動学的応用一般均衡モデル(環境・経済・雇用影響に鑑みた確率過程に基づくマクロ計量モデル)
- GitHub、Excel(VBA、統計関数を含む)、PowerPoint、PDF、Word の操作
- 文献調査・リポーティング(和英)

【志望理由】

私は、データサイエンティストとして計 3 年以上の開発経験(Python3/R/SQL 等)と併せ、常駐先のプロジェクト・マネージャーの下、データサイエンスに係る技術顧問を務めるとともに、現職におけるデータサイエンティスト職の採用面接補佐官を担いました。

これらの業務経験を活かし、更なるキャリアアップを図りたく、データサイエンスに係る PM 又は技術顧問等に就くことを目的として応募させていただきます。

尚、2021 年 2 月 28 日付の退職届を提出し、正式に受理されました。つきましては、現職の雇用契約上、2021 年 3 月 1 日から就業可能です。ご了承ください。

【開発経験から学んだこと】

- 工程毎に顧客の要求項目・納期を明確化し、メール等によってエビデンスを取ってから、具体的に作業する重要性を再認識致しました。
- 作業前に計画を立て、その手順を確認・共有することの重要性を再認識致しました。
- 何事についても齟齬を起こさないように報連相を欠かさず、迷ったら、確認を取ることを心がけております。
- コーディングを行う際は、必ず設計を行い、ロジックを立ててから行うことで、デバッグ処理を短縮するよう心掛けております。

【AI 研究開発と発表論文】

1. [Kaggle の成績表\(要旨\)](#)

| Competitions | Top | Teams | Notebooks |
|---|-----|-----------|----------------------------|
| Predicting Molecular Properties | 21% | 553/1636 | |
| ALASKA2 Image Steganalysis | 25% | 272/1095 | |
| M5 Forecasting - Uncertainty | 26% | 237/912 | |
| TReNDS Neuroimaging | 32% | 336/1051 | |
| OpenVaccine: COVID-19 mRNA Vaccine Degradation Prediction | 33% | 532/1636 | |
| Riiid Answer Correctness Prediction | 34% | 1133/3406 | 1 Bronze Medal |
| Jane Street Market Prediction | | | 1 Silver + 5 Bronze Medals |
| Lyft Motion Prediction for Autonomous Vehicles | | | 1 Bronze Medal |

2. 公益財団法人みずほ学術振興財団第 61 回懸賞論文【経済の部】「ESG 投資について考える」 『エネルギー・気候変動と日本経済における 2050 年問題に向けた動的マクロ計量モデルに基づく ESG 投資の利用:』

[非線形パネル VAR-SPDE-LSTM モデル\(精度評価付き\)の開発』](#)

- [開発資料\(R による実行結果\)](#)
- [発表資料](#)
- キーワード:

共和分検定、単位根検定、偏グレンジャー因果性検定、非直交化インパルス応答関数、パネル VAR(Vector Auto Regressive)モデル、幾何ブラウン運動、確率偏微分方程式、LSTM(Long Short Term Memory)、多重共線性

【スポーツ】 筋力トレーニング(デッドリフト 400kg、ショルダー・プレス 160kg、HIIT)、水泳(4 泳法可能)

【扶養家族】 無 【配偶者】 無